

長久手市車両乗入れ施設及び乗入れ口設置基準

(目的)

第1条 歩行者及び車両の安全確保並びに円滑な通行を確保するため、道路外の施設又は場所（以下「路外施設」という。）へ車両が歩道を横断するための施設（以下「乗入れ施設」という。）及び歩道のない市道等から路外施設へ乗入れる箇所（以下「乗入れ口」という。）を設置する場合の基準を定める。

(設置の禁止)

第2条 道路交通法（昭和35年法律第105号）第44条各号で駐停車が禁止されている次の場所には乗入れ施設及び乗入れ口は設置できないものとする。ただし、当該乗入れ施設及び乗入れ口の設置が真にやむを得ないと認められ、長久手市を所轄する警察署との間でその設置について協議が整った場合はこの限りでない。（図1～3参照）

- (1) 交差点及びその付近
- (2) 横断歩道（歩道橋）及びその付近
- (3) バス停留所付近
- (4) その他道路交通、歩行者及び自転車通行に支障を与える恐れがある場所

備考1 付近とは、5m以内のことをいう。

2 交差点とは、道路の隅きりで囲まれた部分のことをいう。

(乗入れ施設設置幅)

第3条 乗入れ施設は主として乗り入れる車両の種類に応じて表1のとおりとする。

(表1)

車両の種類	路外施設	乗入れ幅	提出書類
普通車	一般住宅 共同住宅 駐車場	4m以内	(乗入れ施設設置予定箇所が市道の場合) ・道路承認工事申請書 (上記以外の公共用地の場合)

	店 舗 等	5 m 以内	・ 公共用物使用許可申請書
大型車	一 般 住 宅 共 同 住 宅 店 舗 等 駐 車 場	6 m 以内	(乗入れ施設設置予定箇所が市道の場合) ・ 道路承認工事申請書 (上記以外の公共用地の場合) ・ 公共用物使用許可申請書 ・ 理由書 (①主として乗り入れる車両の全長を記した乗入れ軌跡図②車検証の写し③車両の写真④路外施設の駐車計画書

- この基準における普通車及び大型車の区分は道路構造令（昭和45年政令第320号）第4条第2項の小型自動車及び小型自動車等を普通車、同項の普通自動車及びセミトレーラ連結車を大型車とする。
- 一般住宅及び共同住宅において普通車を2台以上道路に対して直角に並列して駐車する場合の乗入れ幅は5m以内とする。
- 「主として乗り入れる車両」とは、定期的に乗り入れがあり、路外施設内にその車両の駐車場所が確保及び明示されている車両をいう。
- 土地の形状等により車両が表中の乗入れ幅で進入できない場合は、この限りでない。
- 路外施設内に消防活動用空地があり、消防長が定める基準に基づき乗入れ幅を確保する場合において、表中の乗入れ幅で進入できない場合は、この限りでない。

(乗入れ口設置幅)

第4条 乗入れ口は主として乗り入れる車両の種類に応じて表2のとおりとする。

(表2)

車両の種類	路外施設	乗入れ幅	並列駐車		間口が1.5m未満の場合
			2台	3台以上	

普通車	一般住宅	4 m以内	5 m	1台あたりの幅2.5 m×台数分	・乗入れ幅及び並列駐車 の制限なし。 ・縦列駐車場を設置する ことができる。
	共同住宅	4 m以内	5 m	道路と路外施設の境界から50 cm以上離れた位置から駐車場を設置すること。	—
	駐車場	4 m以内	—	—	—
	店舗等	5 m以内	—	—	—
大型車	一般住宅 共同住宅 店舗等 駐車場	6 m以内	—	—	—

- 1 この基準における普通車、大型車の区分は道路構造令第4条第2項の小型自動車及び小型自動車等を普通車、同項の普通自動車及びセミトレーラ連結車を大型車とする。
- 2 「主として乗り入れる車両」とは、定期的に乗入れがあり、路外施設内にその車両の駐車場所が確保、明示されている車両をいう。
- 3 主として乗り入れる車両が普通車の場合の駐車場の大きさは、幅2.5 m×長さ5.0 mを標準とする。
- 4 「間口」とは、路外施設と道路が接する辺長のことをいう。
- 5 「並列駐車」とは、道路に対して直角に並列して駐車することをいう。
- 6 「縦列駐車」とは、道路に対して平行に駐車することをいう。
- 7 土地の形状等により車両が表中の乗入れ幅で進入できない場合は、この限りでない。
- 8 路外施設内に消防活動用空地があり、消防長が定める基準に基づき乗入れ幅を確保する場合において、表中の乗入れ幅で進入できない場合は、この限りでない。

(乗入れ施設の改造と閉塞)

第5条 設置された乗入れ施設及び乗入れ口は路外施設の利用目的の変更にあわせ、改造又は閉塞を土地所有者の責任において行うものとする。

(設置箇所数)

第6条 乗入れ施設及び乗入れ口は、1路外施設に1か所とする。ただし、次の場合は、必要最小限の数及び設置ができるものとする。(図4～5参照)

- (1) 車両の通り抜け、転回が不可能な路外施設において、乗入れ施設及び乗入れ口の間隔が10 m以上確保できる場合
- (2) 交差点に面する敷地(角地)に存し、この基準で禁止されている場所以外に乗入れ施設及び乗入れ口が設置可能な路外施設
- (3) 高層建築物(地盤面からの高さが3.1 mを超える建築物又は地階を除く階数が11

階以上のものをいう。)で路外施設内に消防車両進入路が2か所以上ある場合
(設置角度)

第7条 乗入れ施設及び乗入れ口は車道中心線に対して直角に設置するものとする。

(標準構造)

第8条 乗入れ施設、乗入れ口の構造、舗装構造、歩車道境界ブロック構造及び植栽ブロック構造は、標準構造図に基づくものとする。(図6～19参照)

- 2 路床が軟弱な場合は、必要に応じてクラッシャーランの厚みを増すものとする。
- 3 側溝がPU1の場合は、民地側に乗入れ幅で深さ15cm、奥行き50cm以上の補強コンクリートを設置すること。
- 4 路外施設が未舗装の場合は、道路へ土砂、砂利等が出ない対策を協議すること。
- 5 グレーチングは、T-25細目を5mに1枚設置すること。
- 6 側溝蓋は、1種蓋が設置してある場合は2種蓋に替えること。ただし、側溝が25t対応していないものについてはPU3の側溝に敷設替えすること。
- 7 歩道部のアスファルト舗装又はインターロッキング舗装は、乗入れ部及び歩車道境界ブロック布設替えから影響部分30cmを含めて図示する範囲において市の指定する舗装構成にすること。ただし、近接する舗装絶縁線までの距離が1m未満である場合はその絶縁線までを市の指定する舗装構成にすること。
- 8 乗入れ施設及び乗入れ口以外の箇所から道路(歩道含む)へ車が出入りできないよう路外施設に高さ10cm以上の固定式ブロック等を設置すること。
- 9 路外施設から道路へ直接雨水が流れ出ないようにすること。
- 10 透水性舗装を使用している歩道に乗入れ施設を設置する場合は、透水性舗装で施工すること。
- 11 植栽部の土は、植栽用良質土又は表3による改良土を深さ50cmまで使用すること。

(表3)

1m³あたり

内容	規格	数量
土	掘削土又は購入土	0.96m ³
土壌改良剤	有機系	50kg
	無機系	100ℓ
肥料	粉末 N:P:K=23:2:0	0.7kg
	固形 N:P:K=3:6:4	0.7kg

(申請書類)

第9条 申請書類は、「道路承認工事申請書」(公共用物使用許可申請書)に次の書類を添付し、2部提出すること。

(1) 位置図

- (2) 現況・計画平面図（申請場所付近の状況及び車道・歩道の幅員、植栽・街路灯・柵等などの道路施設の位置、路外施設内の建物・駐車場・車庫の配置を記載すること。）
- (3) 構造図（標準構造図に必要事項を記入すること。）
- (4) 着手前現況写真（乗入れ施設設置予定位置を赤線で示すこと。）
- (5)（必要な場合）理由書、乗入れ車両又は緊急車両の軌跡図、車検証の写し、車両の写真、路外施設の駐車計画書
（施工）

第10条 施工は、愛知県建設部標準仕様書（工事標準仕様書）に準じて行うものとする。
（着手届・完了届）

第11条 着手届は、施工前に、完了届は、施工後に提出すること。また、完了届には着手前、施工中及び完了の写真を添付すること。写真は、路床の転圧工程、舗装構成毎に丁張から〇cm下がりかを表示した黒板（計画値と実測地を併記）とスケールをあてたもの（道路から民地に向けて撮影）を6か所（奥側／左・中央・右、手前側／左・中央・右）撮影すること。

附 則

この基準は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成24年1月4日から施行する。

图 1

图 2

图 3

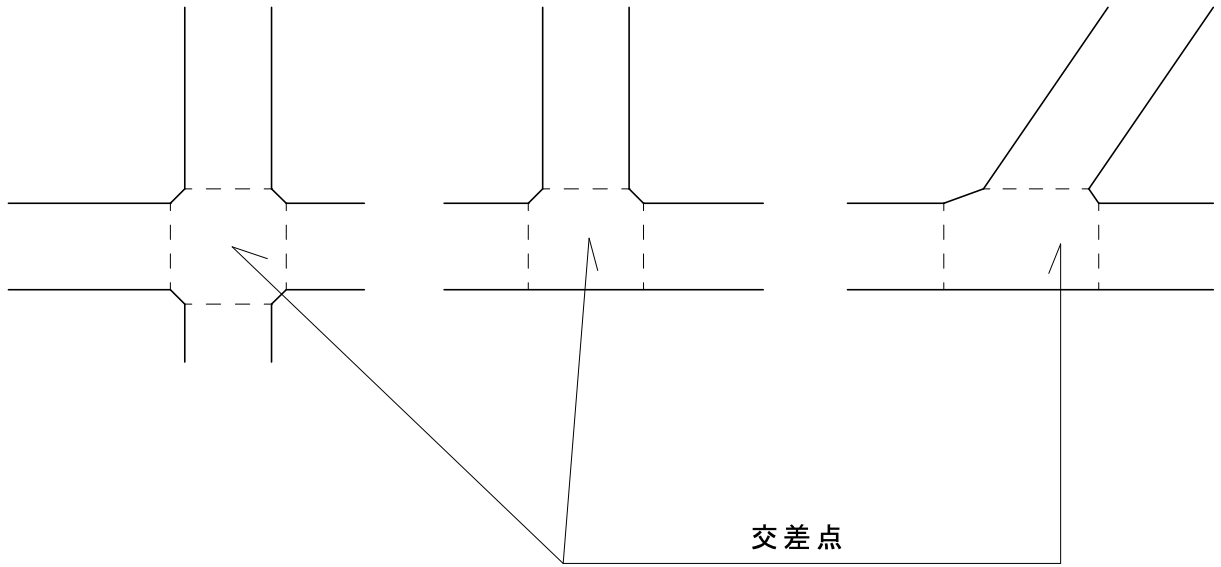
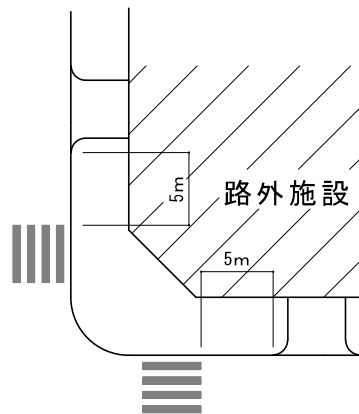
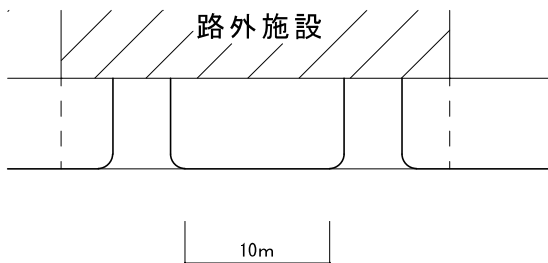


图 4

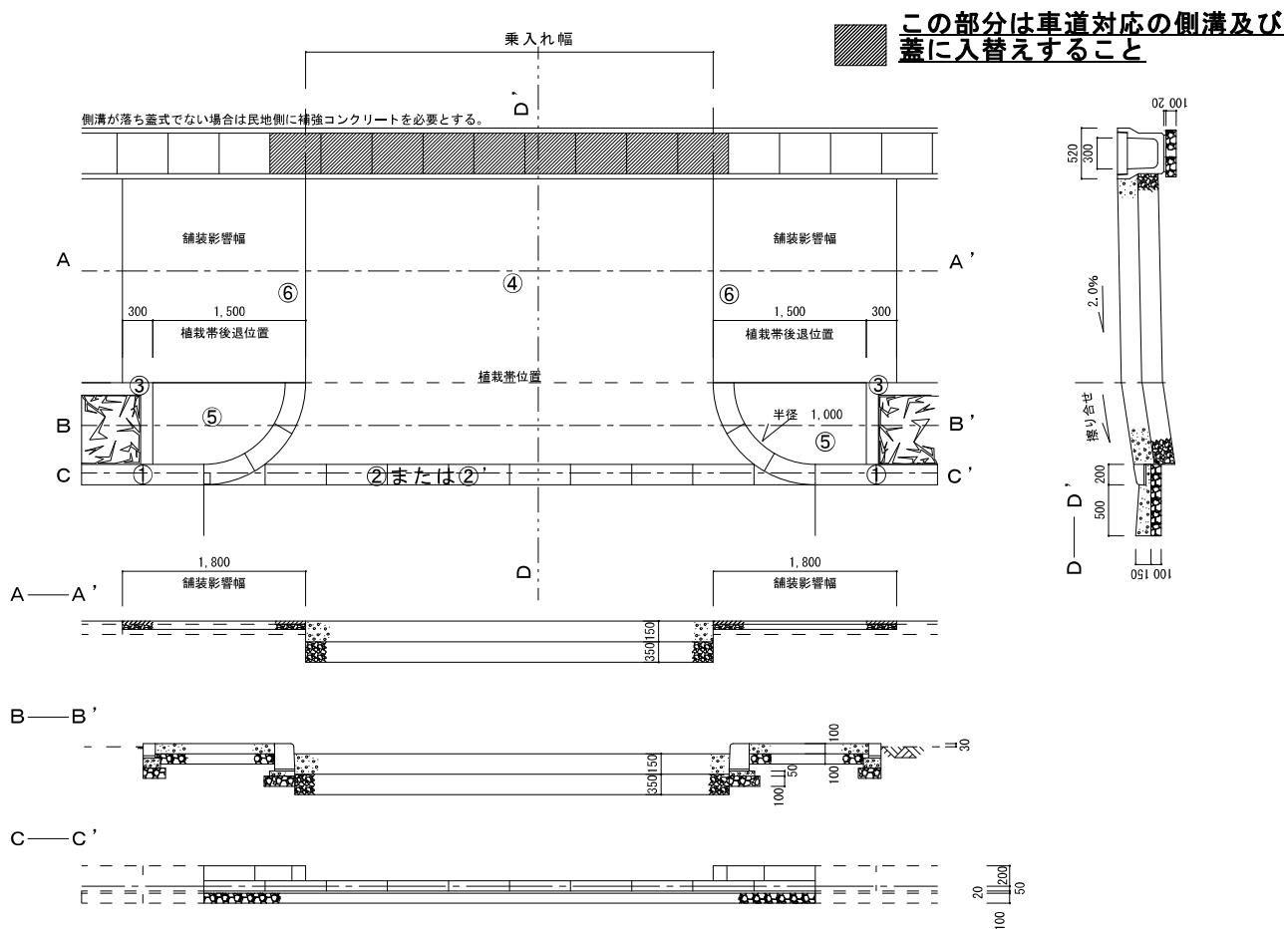
图 5



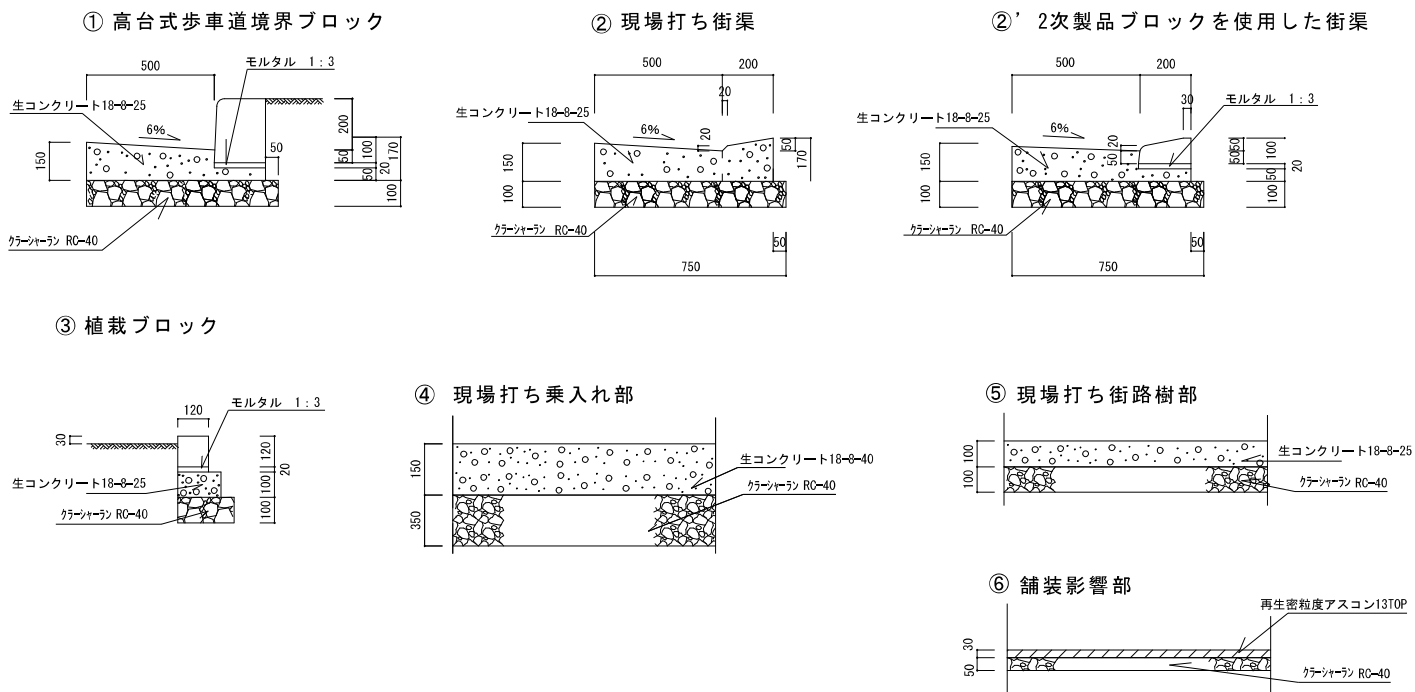
高台式乗入れ構造図（植栽帯有り）

主として乗入れる車両が「普通車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合

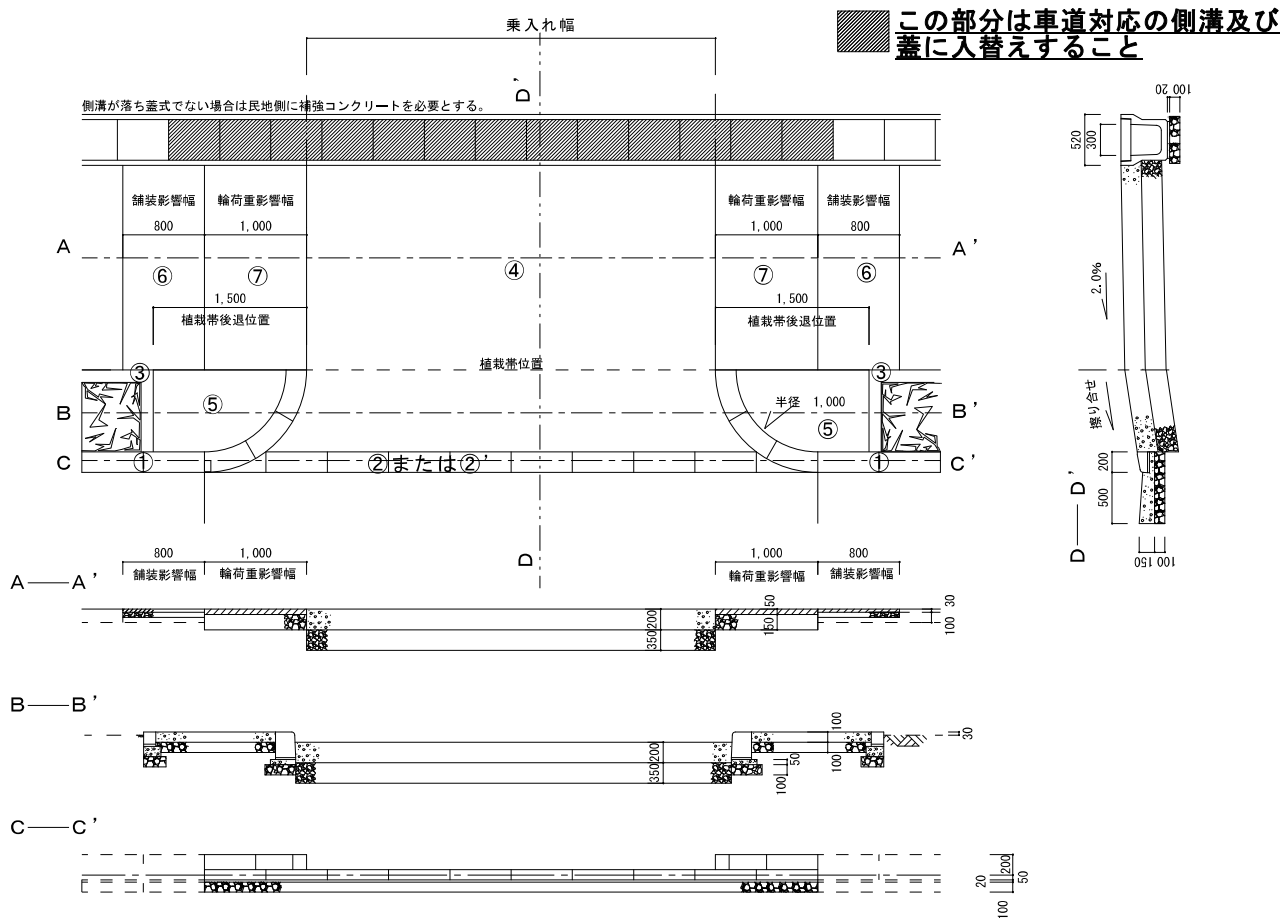
平面・横断面図



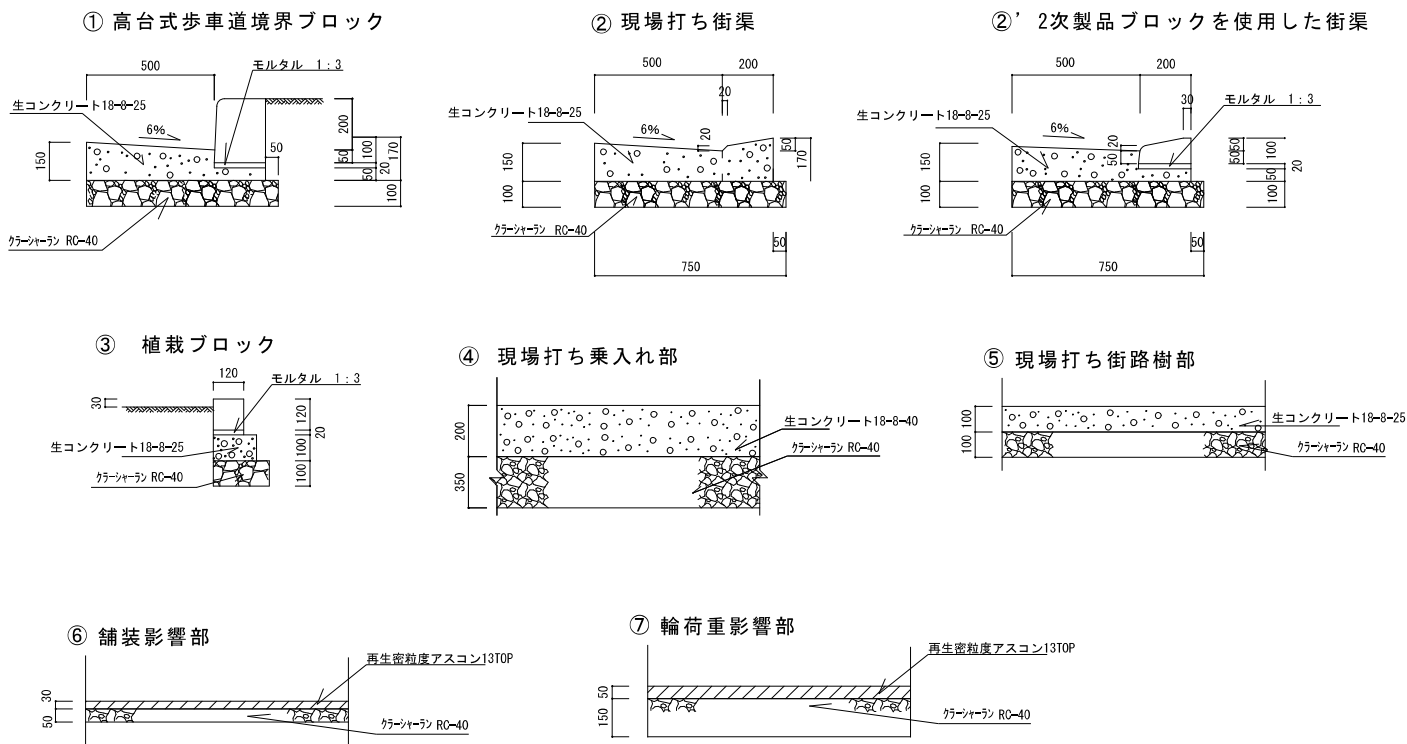
構造図



高台式乗入れ構造図（植栽帯有り）
 店舗の場合（主として乗入れる車両が「普通車」、「大型車」）
 主として乗入れる車両が「大型車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合
 平面・横断面図

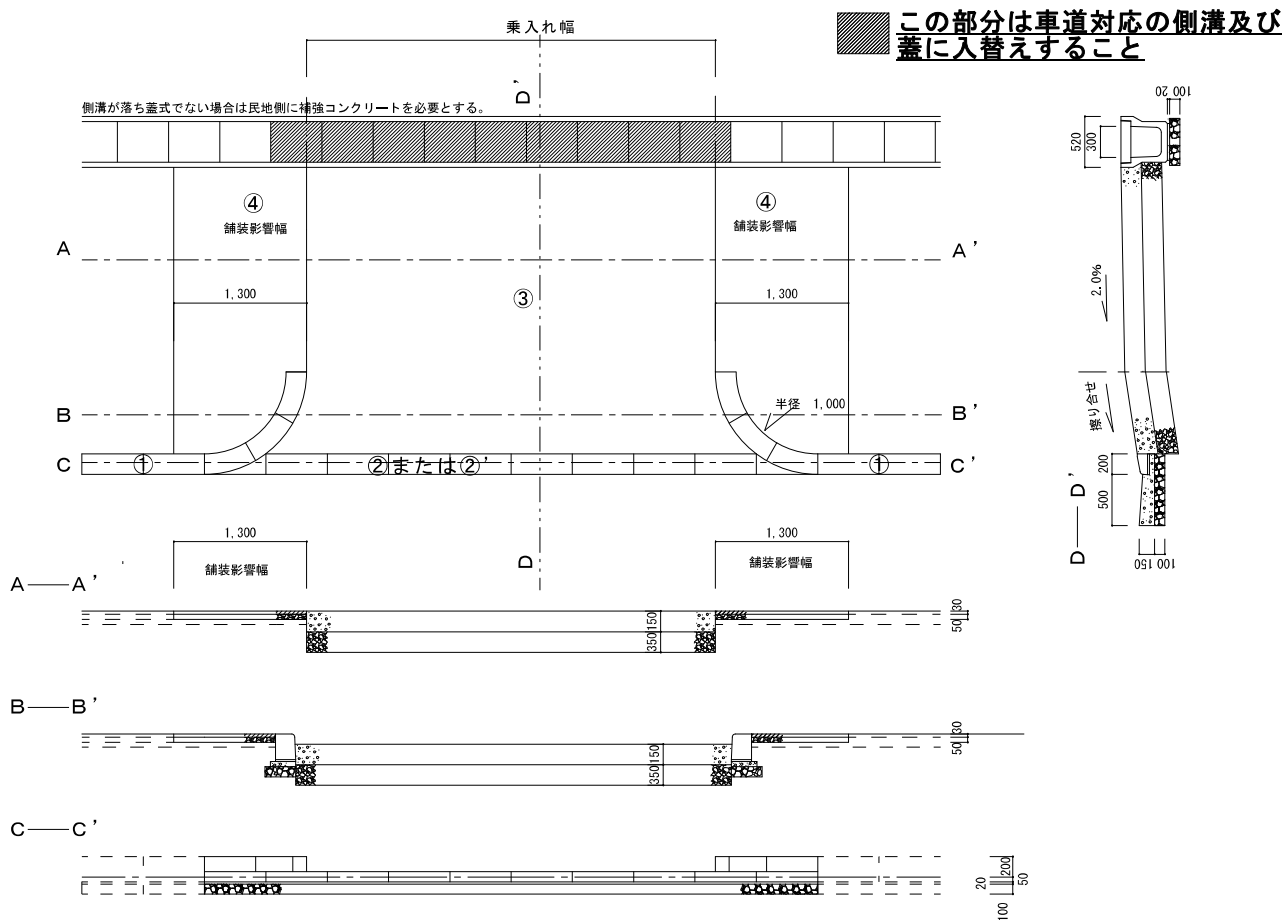


構造図

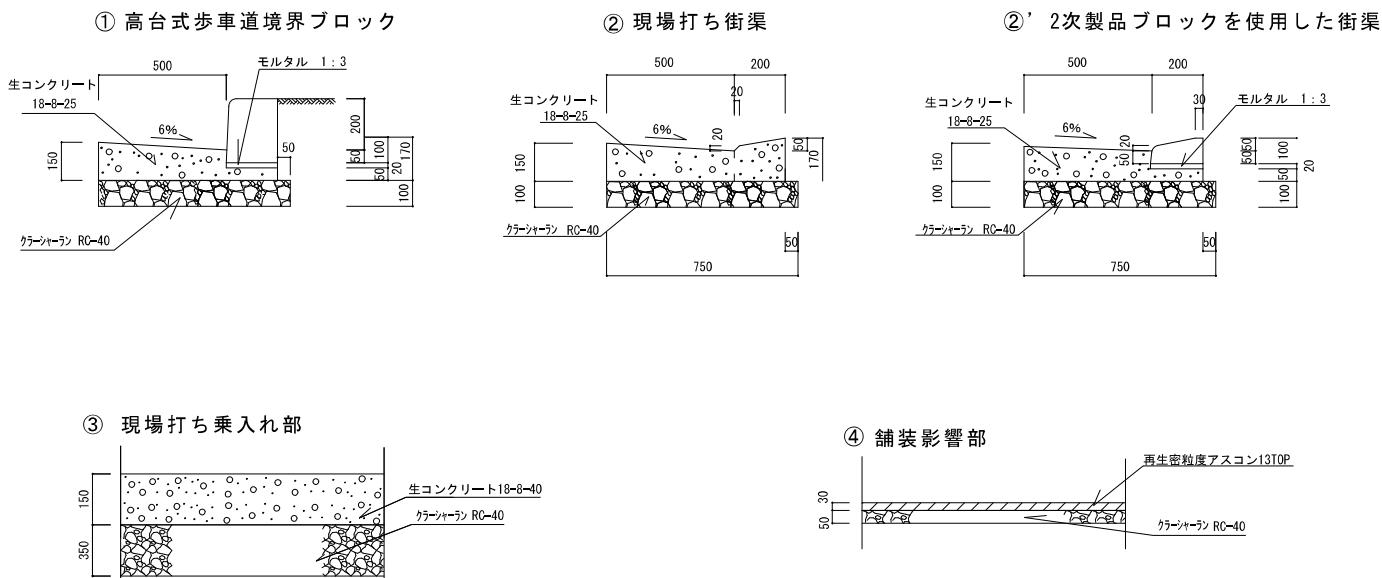


高台式乗入れ構造図（植栽帯無し）歩道幅2.5m以上
主として乗入れる車両が「普通車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合

平面・横断面図

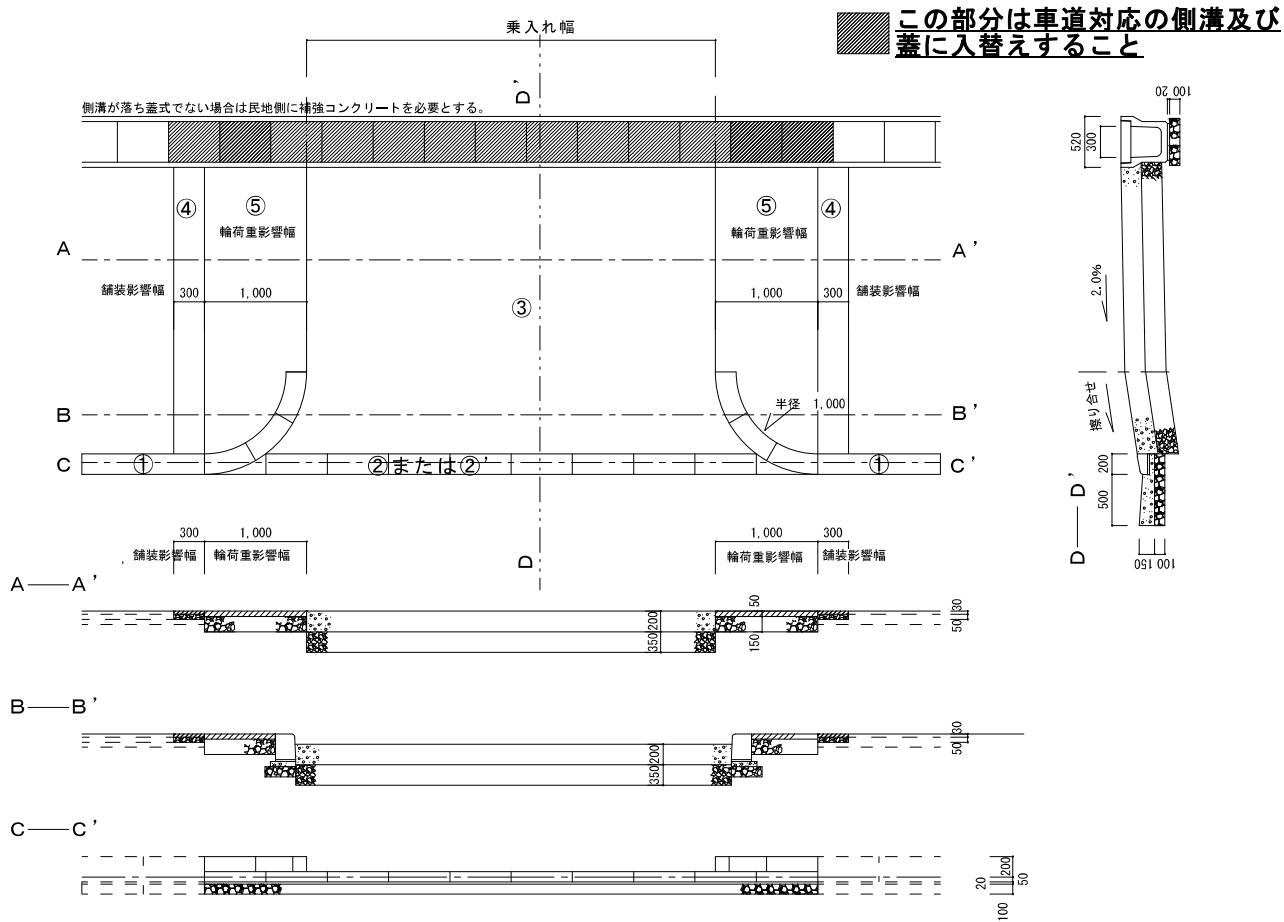


構造図

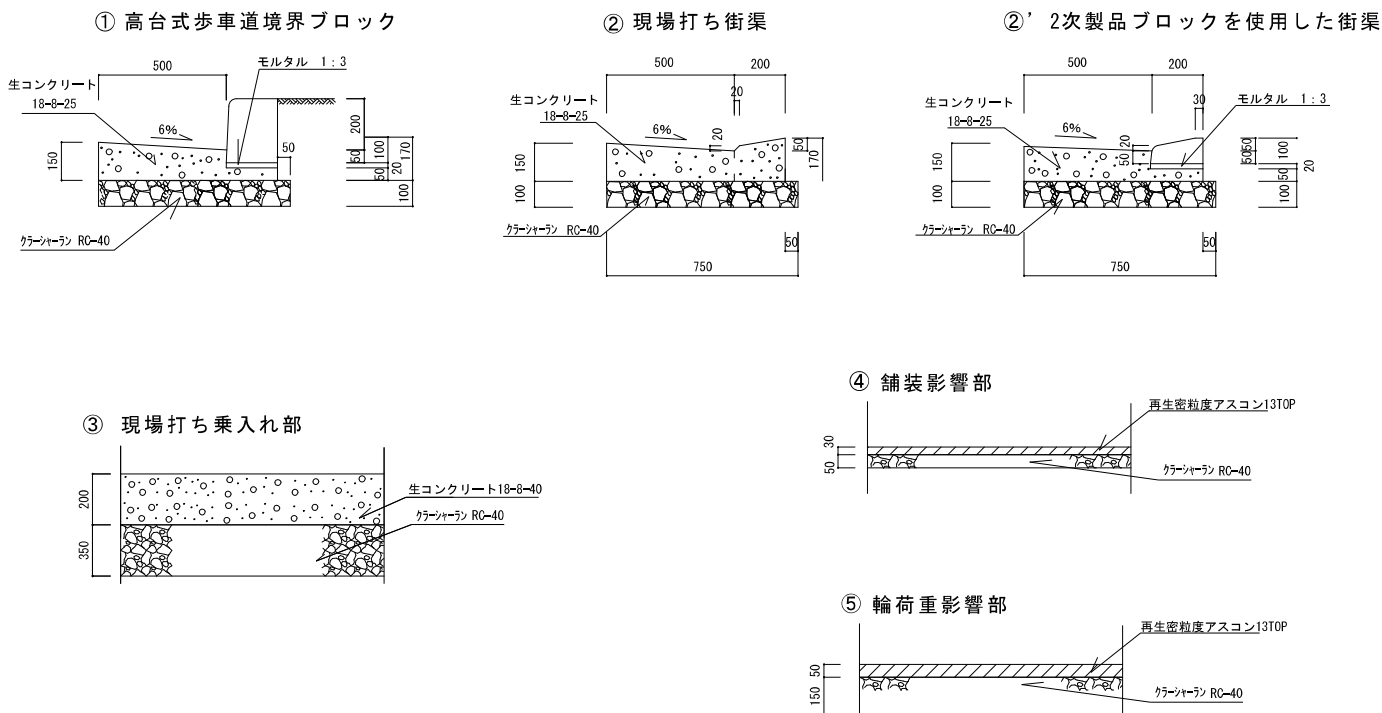


高台式乗入れ構造図（植栽帯無し）歩道幅2.5m以上
 店舗の場合（主として乗入れる車両が「普通車」、「大型車」）
 主として乗入れる車両が「大型車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合

平面・横断面図

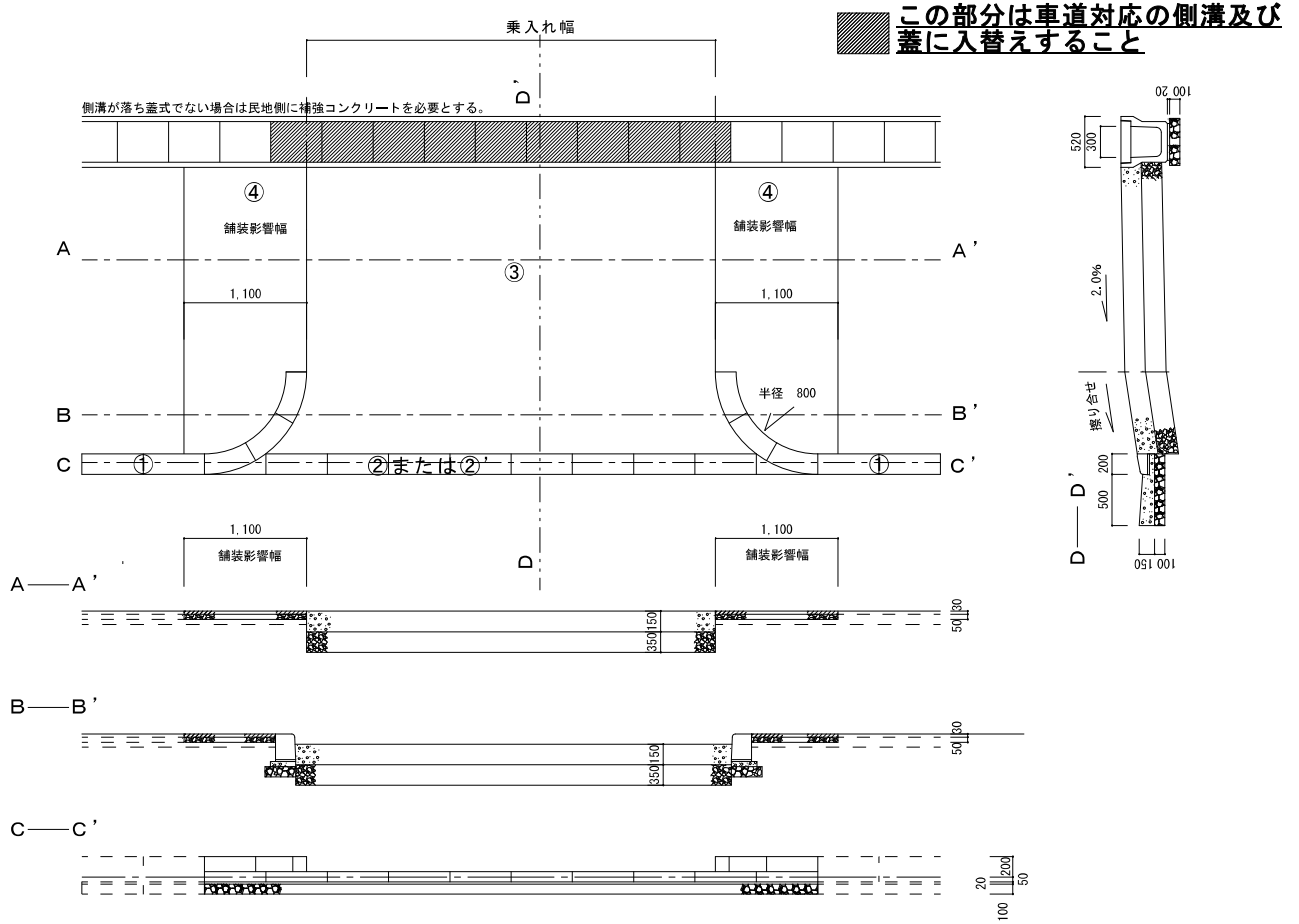


構造図



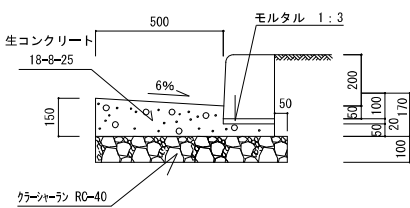
高台式乗入れ構造図（植栽帯無し）歩道幅2.5m未満
主として乗入れる車両が「普通車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合

平面・横断面図

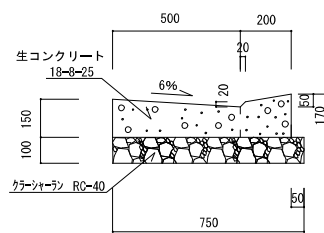


構造図

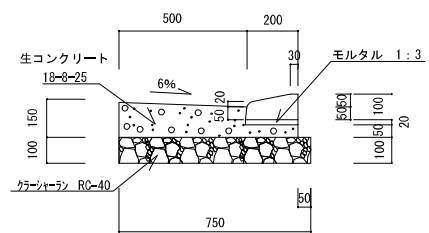
① 高台式歩車道境界ブロック構造図



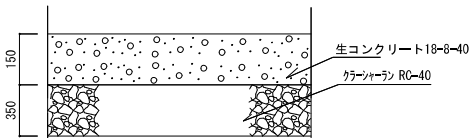
② 現場打ち街渠



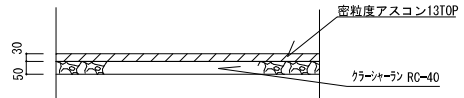
②' 2次製品ブロックを使用した街渠



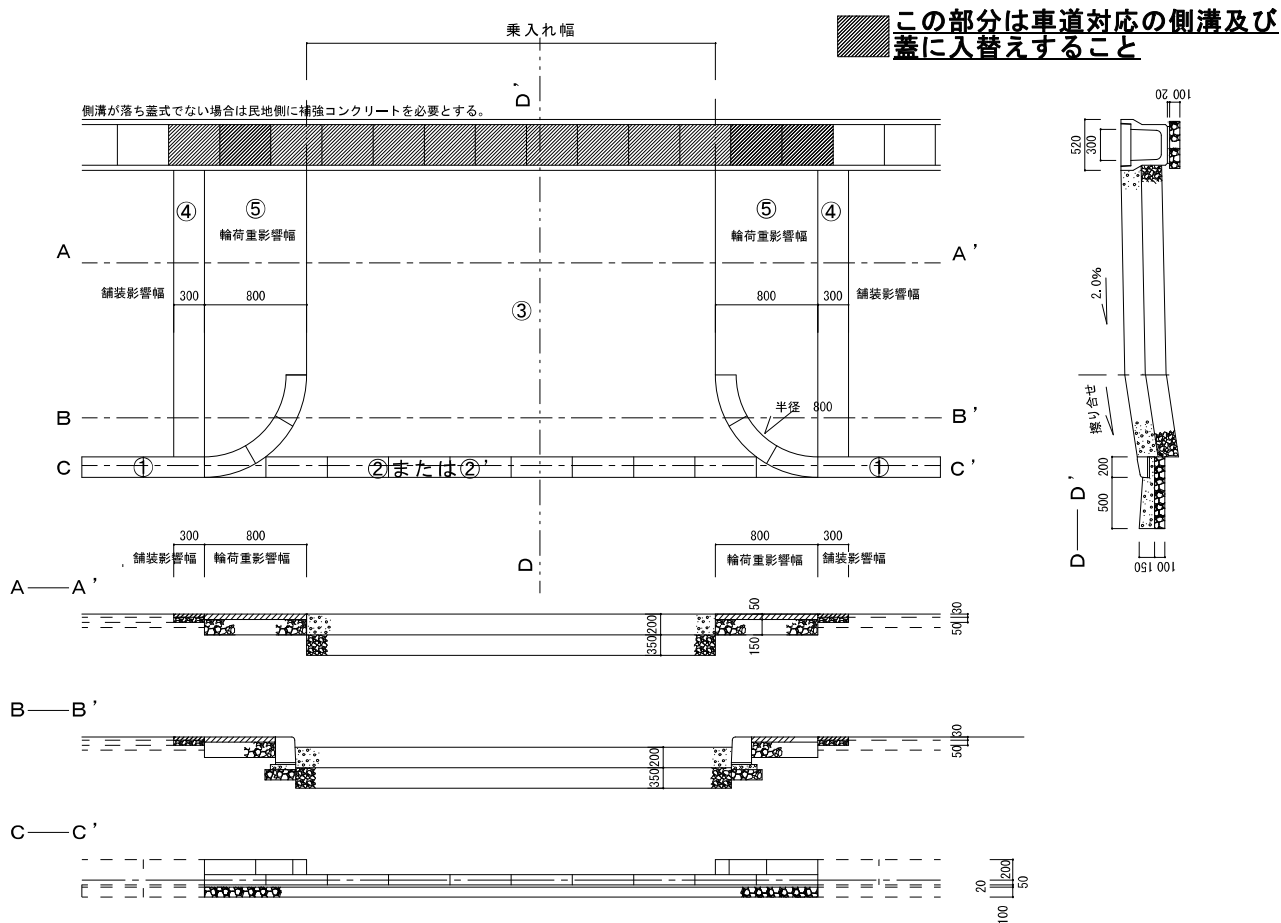
③ 現場打ち乗入れ部



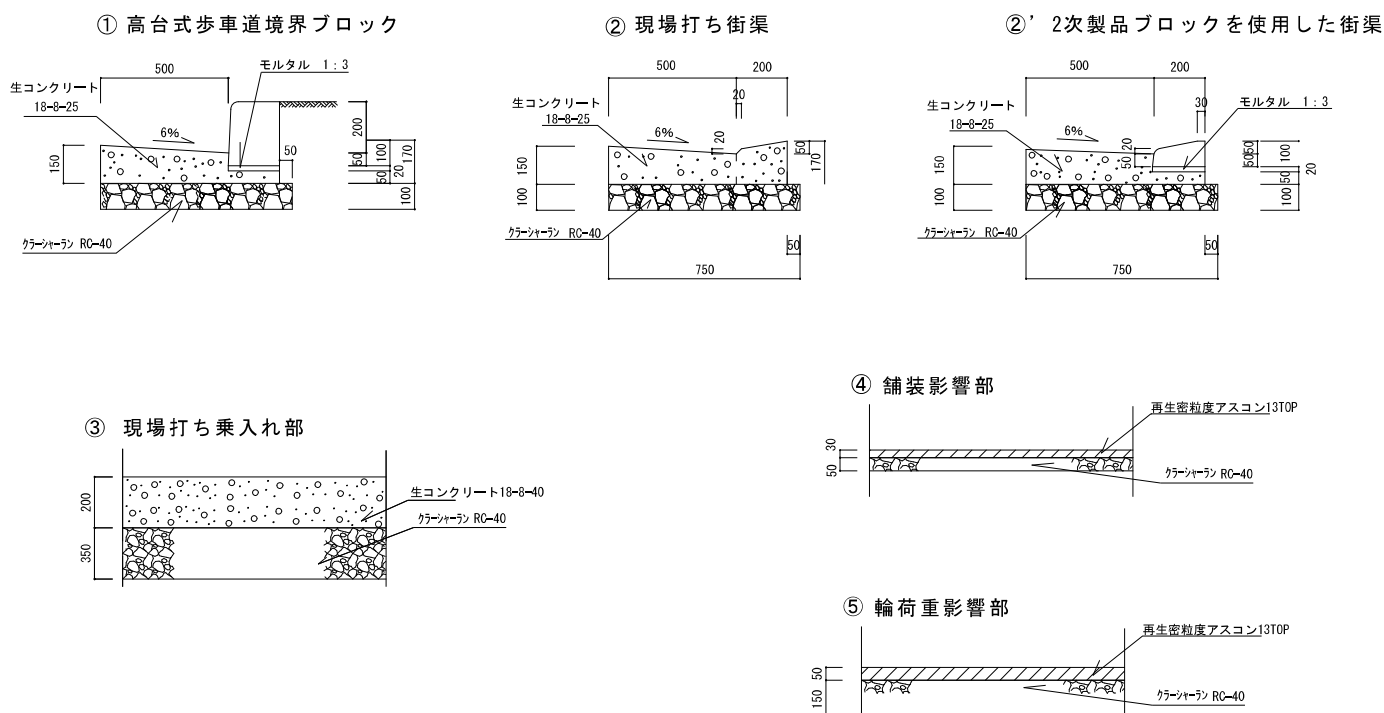
④ 舗装影響部



高台式乗入れ構造図（植栽帯無し）歩道幅2.5m未満
 店舗の場合（主として乗入れる車両が「普通車」、「大型車」）
 主として乗入れる車両が「大型車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合
 平面・横断面図



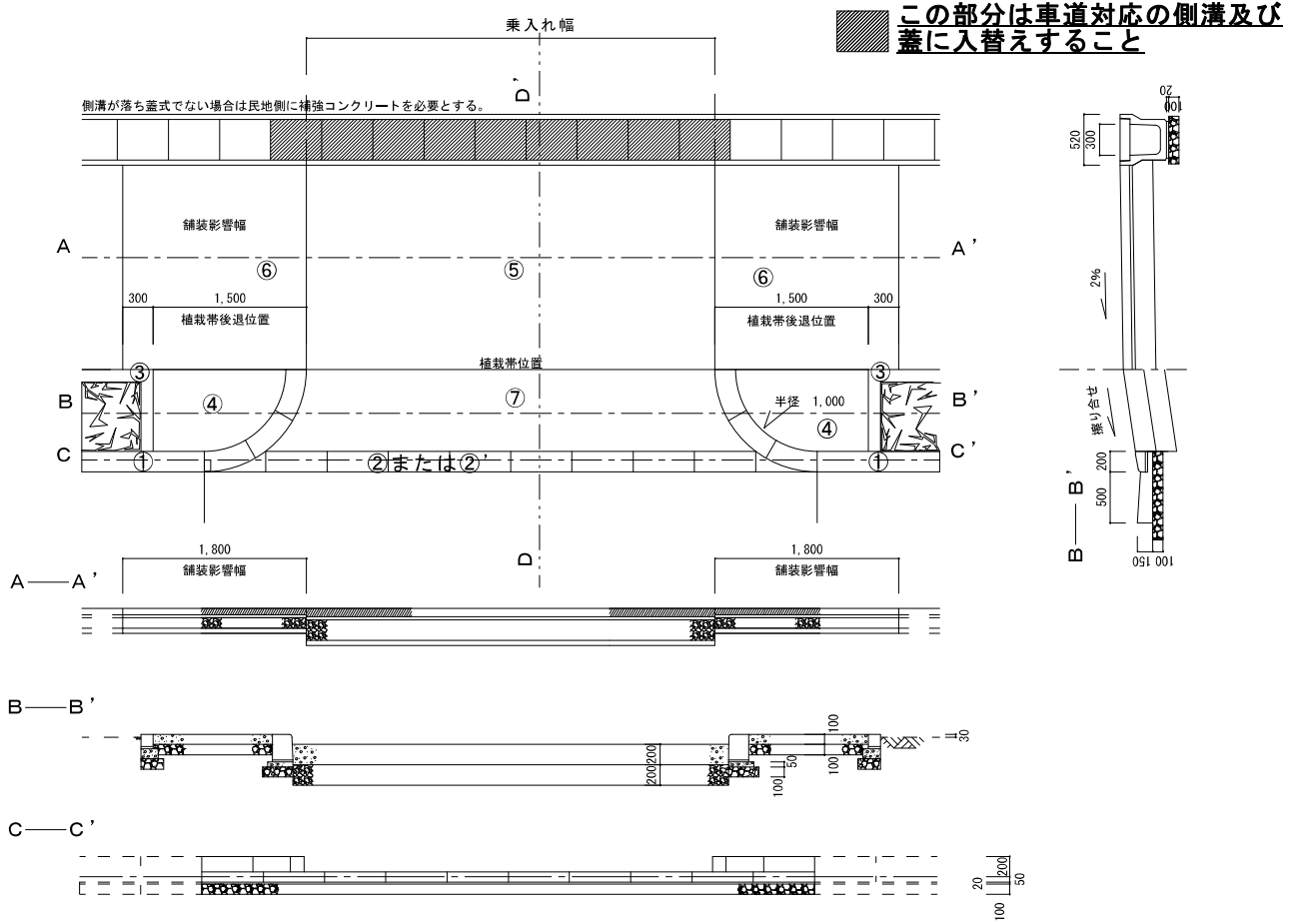
構造図



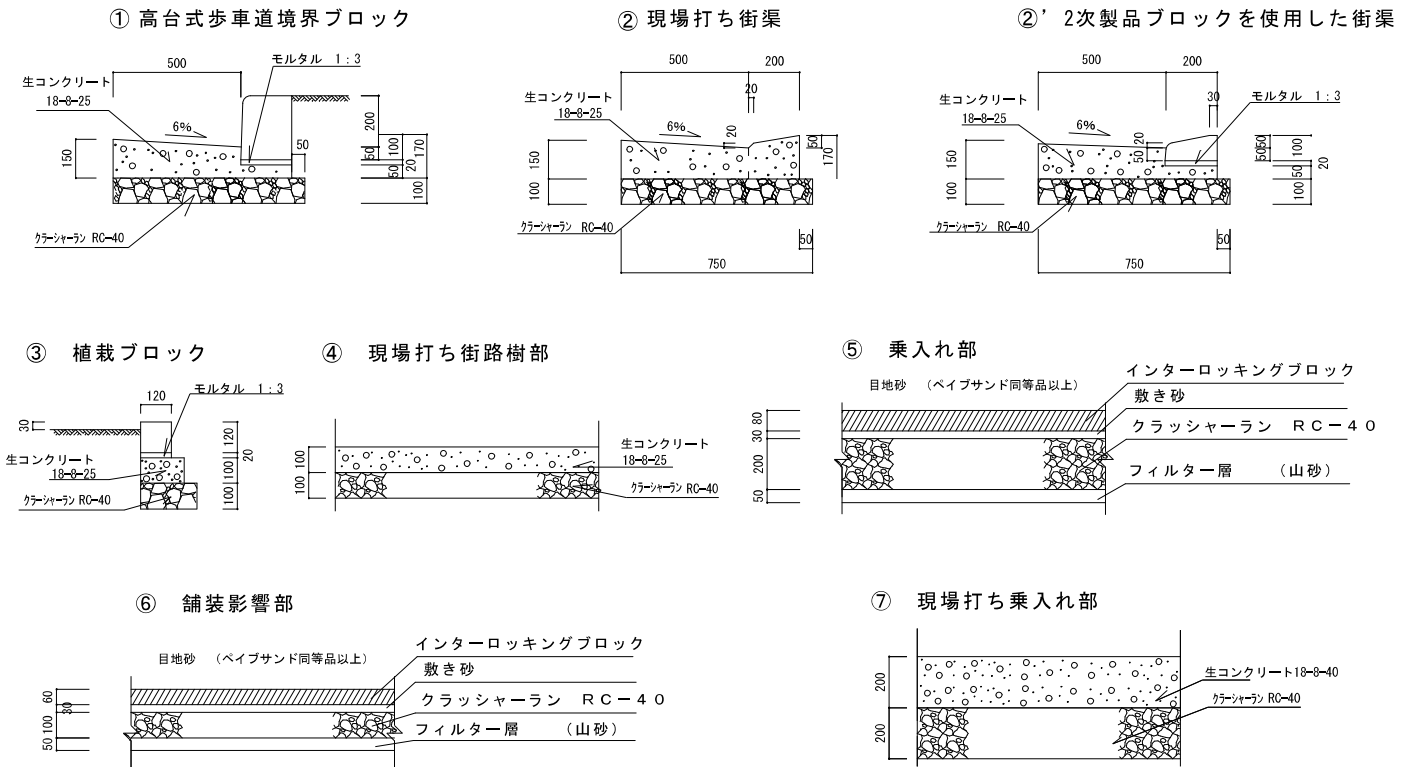
高台式乗入れ構造図 (インターロッキング)

主として乗入れる車両が「普通車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合

平面・横断面図

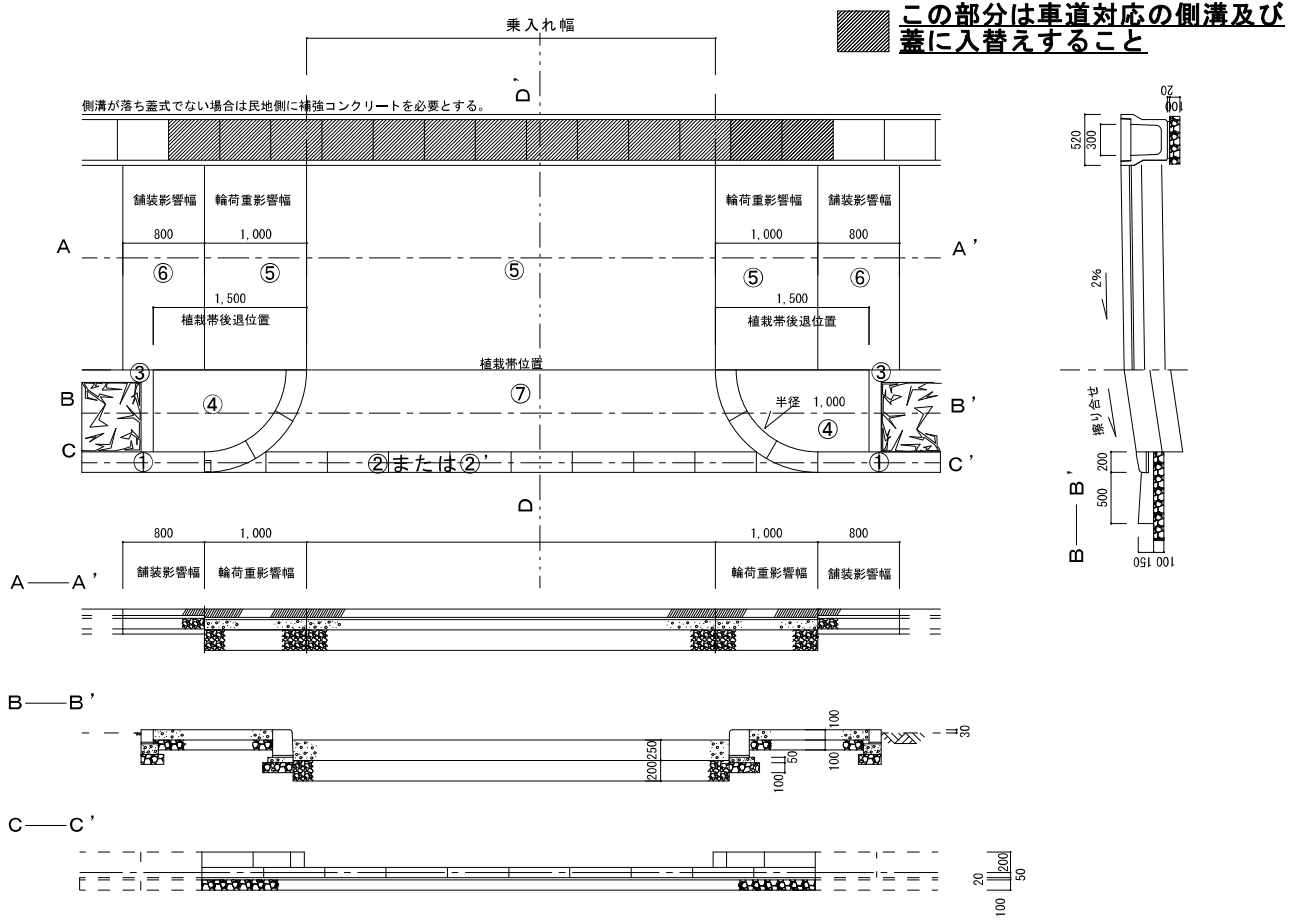


構造図

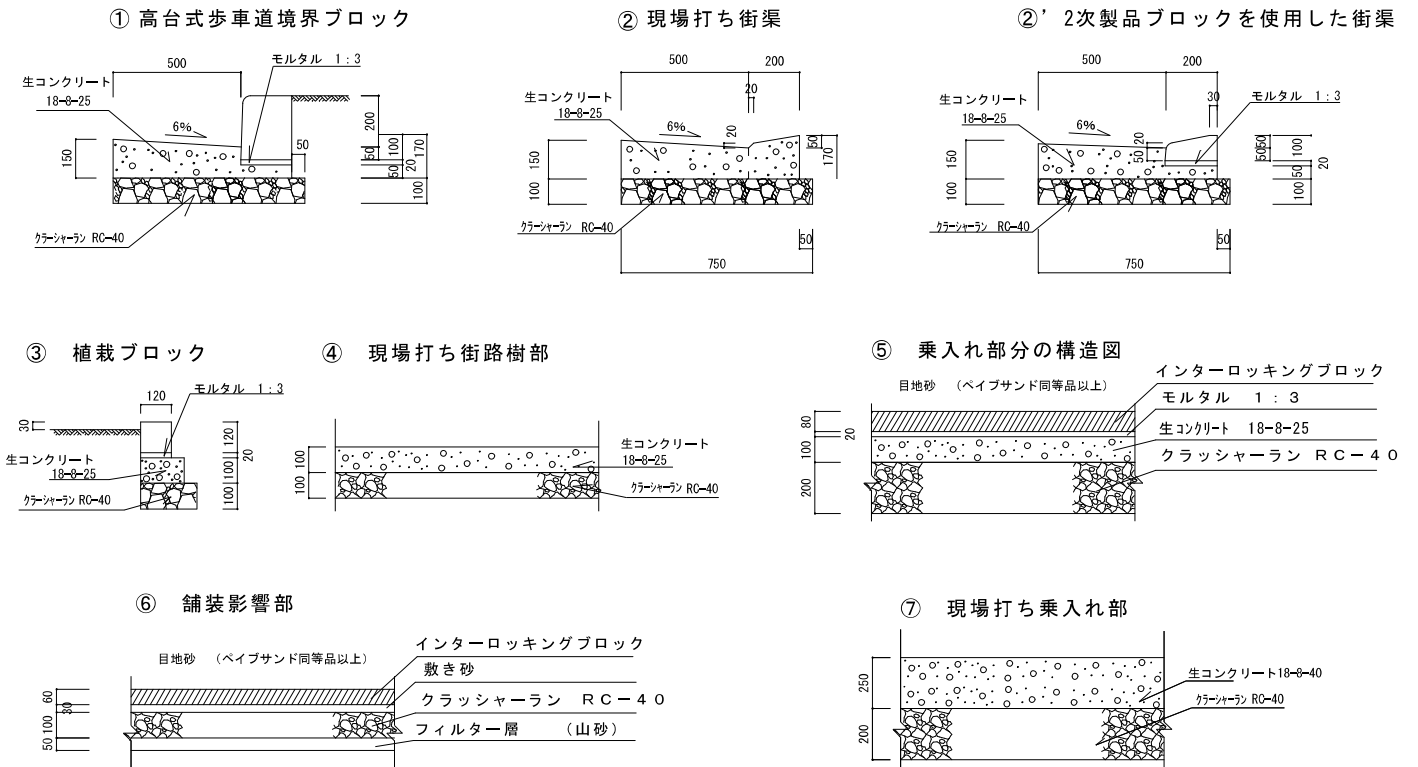


高台式乗入れ構造図（インターロッキング）
 店舗の場合（主として乗入れる車両が「普通車」、「大型車」）
 主として乗入れる車両が「大型車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合

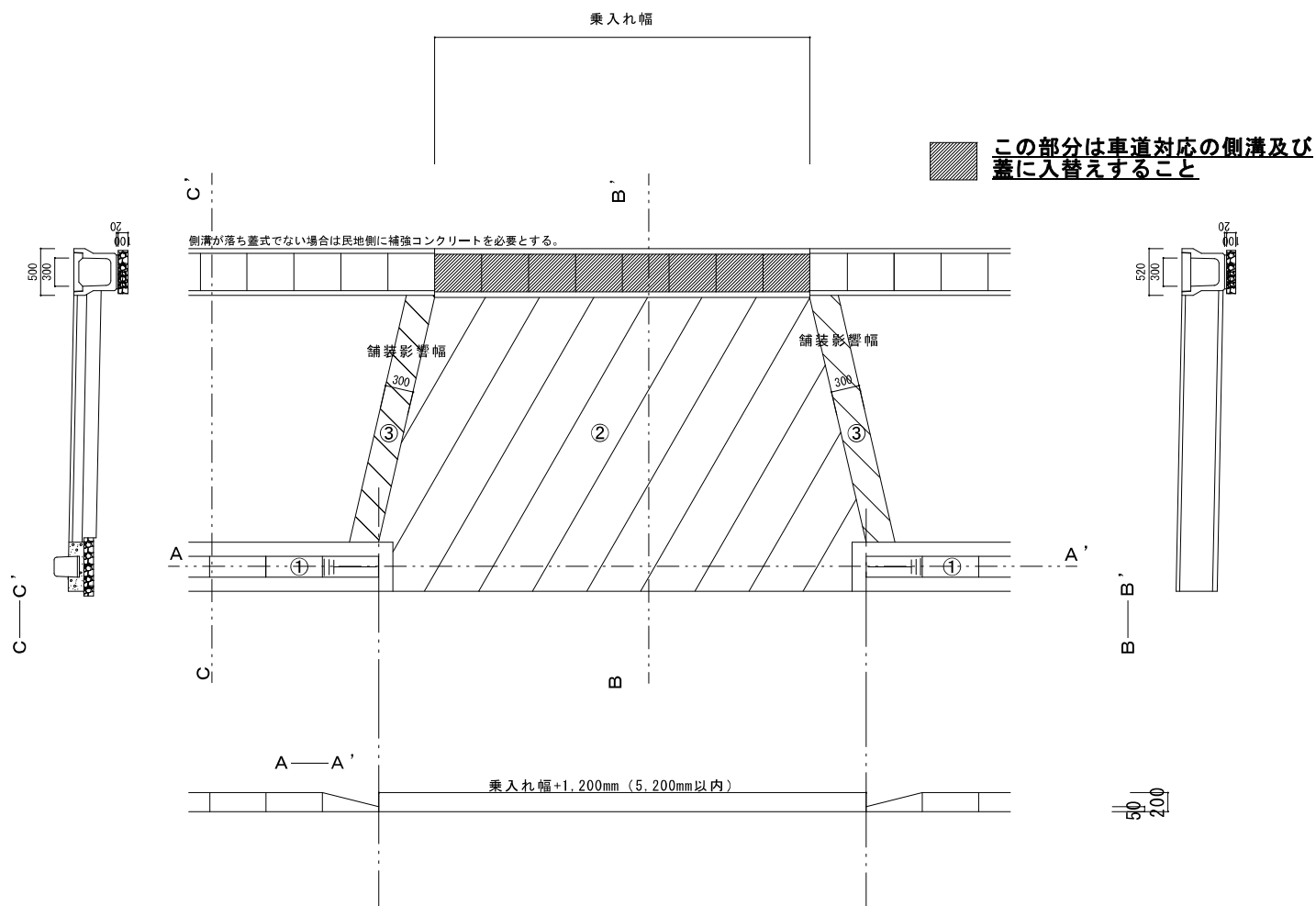
平面・横断面図



構造図

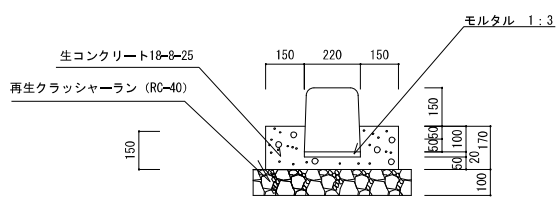


平面式乗入れ構造図（透水性舗装）
 主として乗入れる車両が「普通車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合
 平面・横断面



構造図

① 平面式歩車道境界ブロック

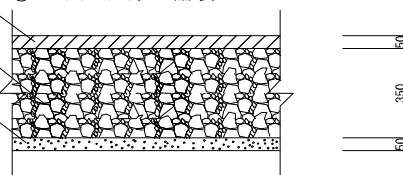


透水性アスコン

再生クラッシャーラン (RC-40)
 又は、クラッシャーラン (C-40)

フィルター層 (山砂)

② 乗入れ部の舗装

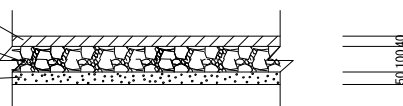


③ 舗装影響部

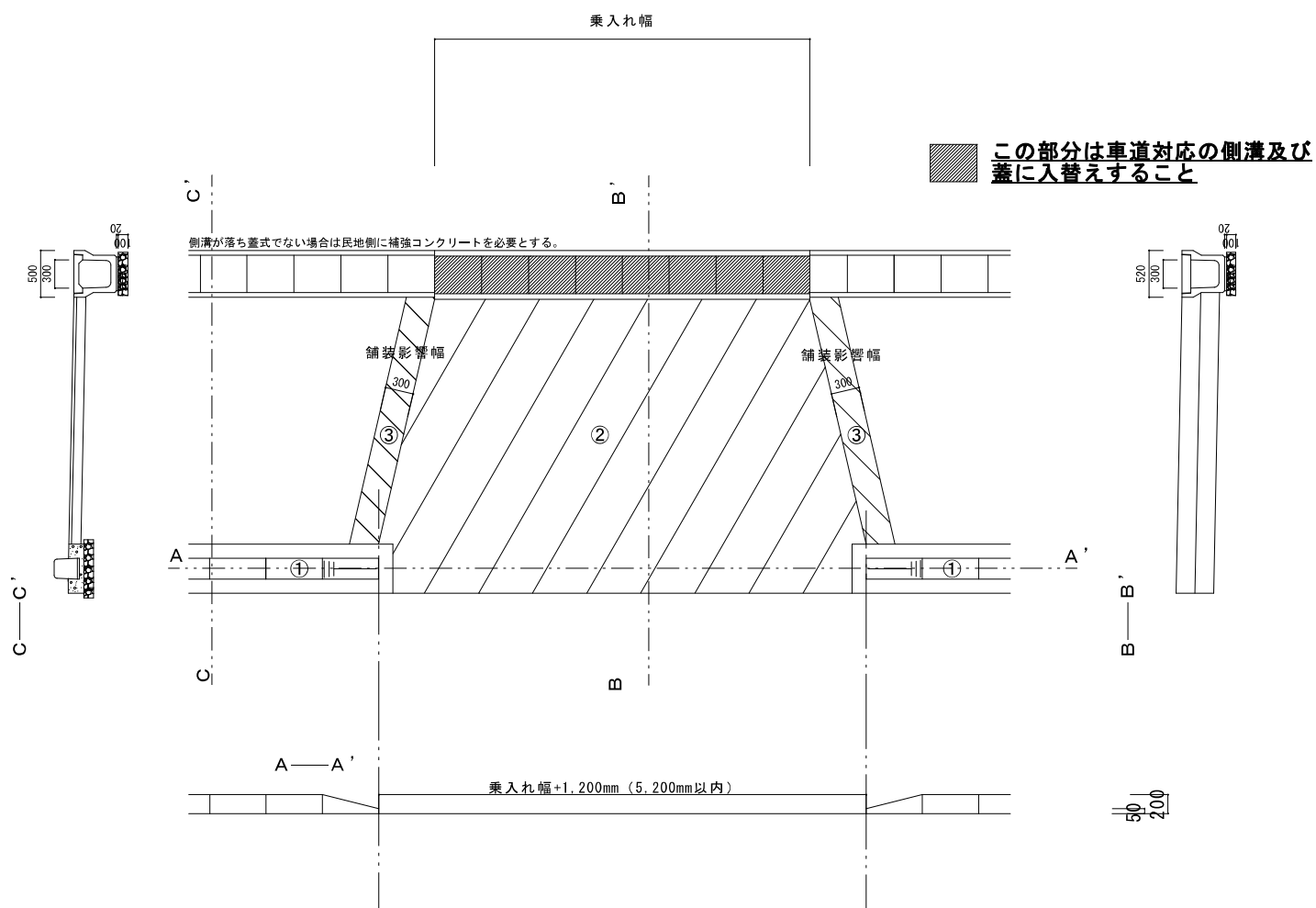
透水性アスコン

再生クラッシャーラン (RC-40)
 又は、クラッシャーラン (C-40)

フィルター層 (山砂)

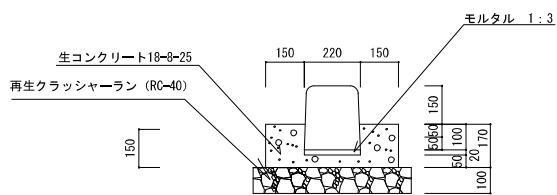


平面式乗入れ構造図
 主として乗入れる車両が「普通車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合
 平面・横断面図

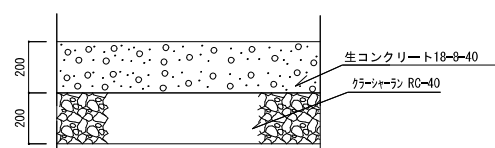


構造図

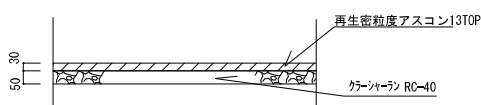
① 平面式歩車道境界ブロック



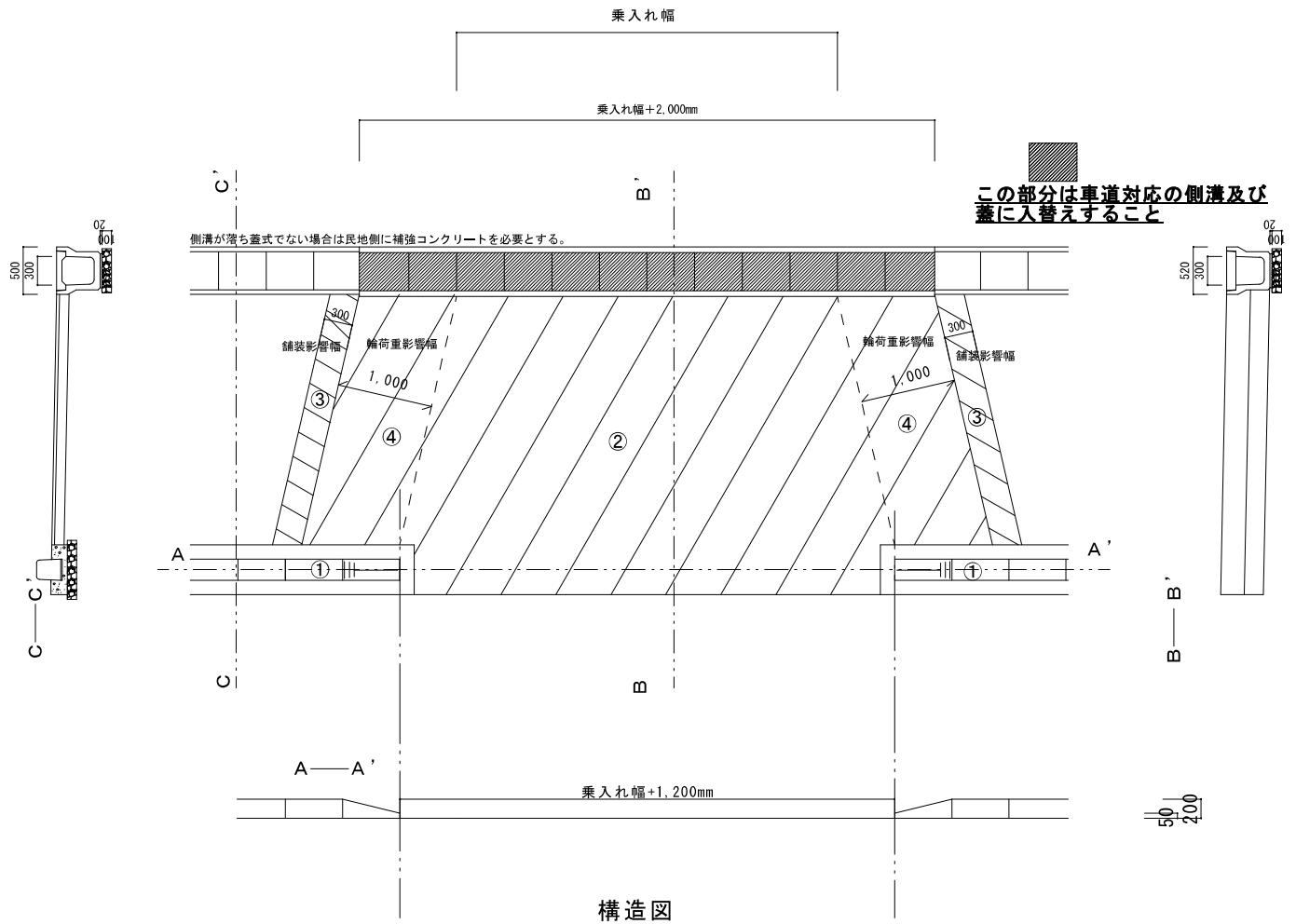
② 現場打ち乗入れ部



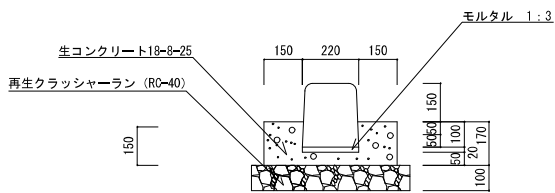
③ 舗装影響部



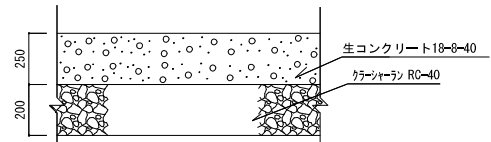
平面式乗入れ構造図
 店舗の場合（主として乗入れる車両が「普通車」、「大型車」）
 主として乗入れる車両が「大型車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合
 平面・横断面図



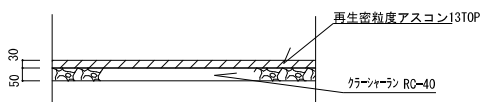
① 平面式歩車道境界ブロック



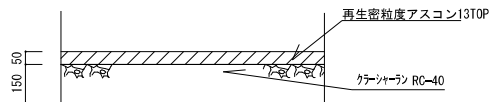
② 現場打ち乗入れ部



③ 舗装影響部



④ 輪荷重影響部

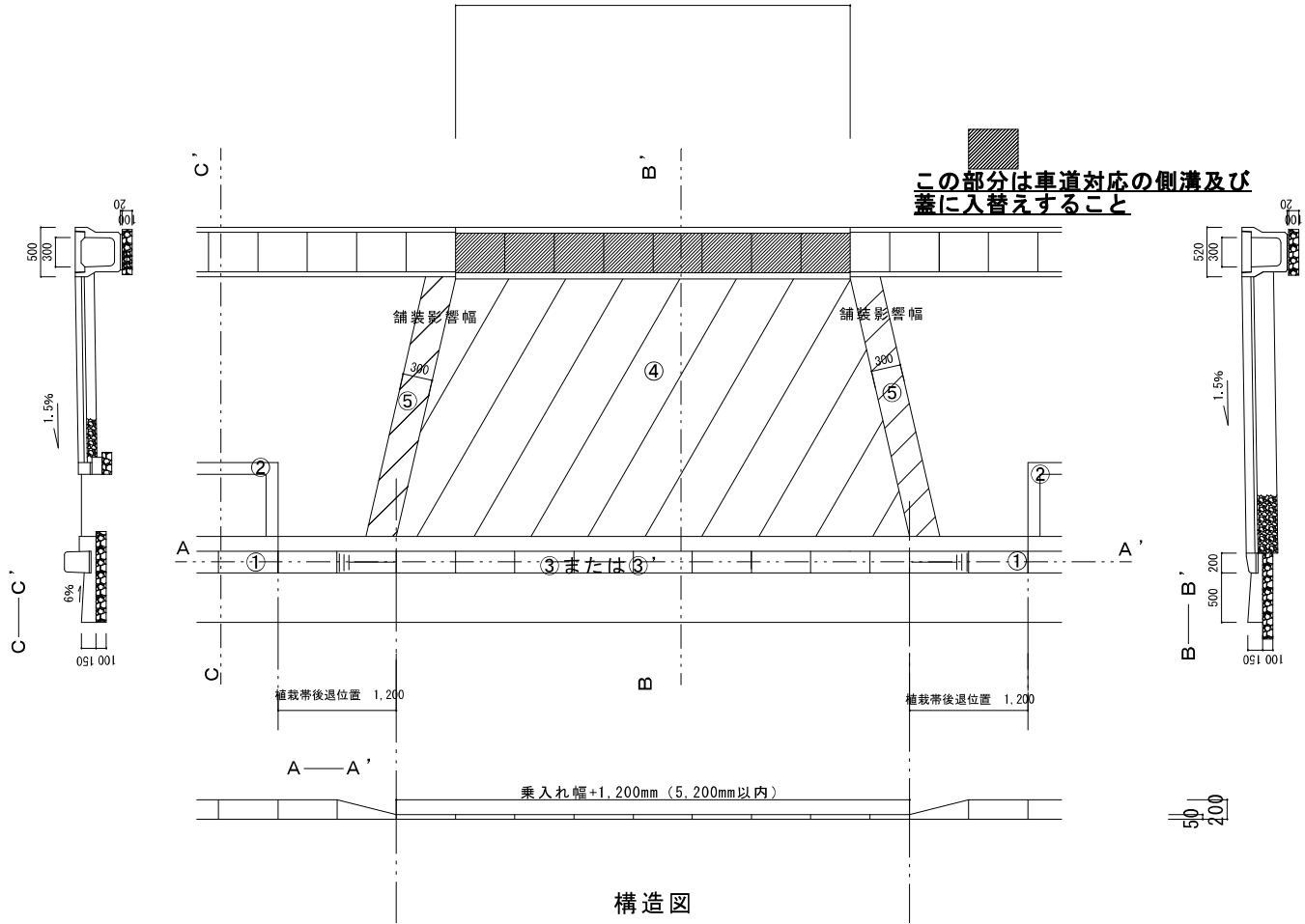


セミフラット式乗入れ構造図

主として乗入れる車両が「普通車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合

平面・横断面図

乗入れ幅

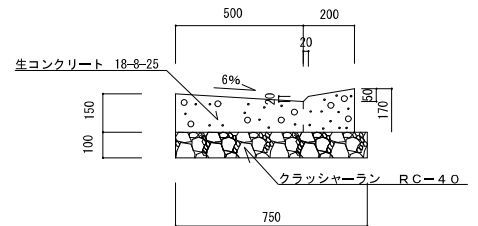
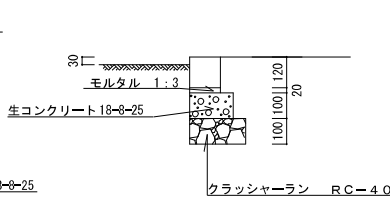
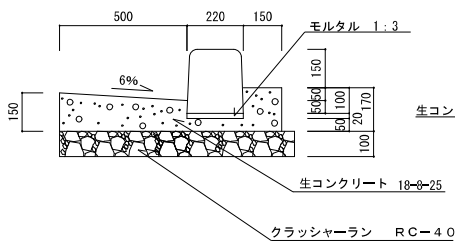


構造図

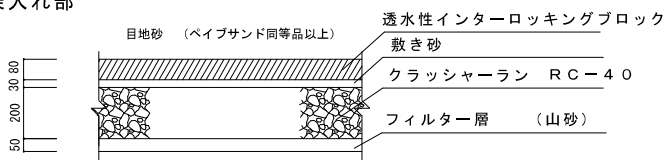
① セミマウント歩車道境界ブロック構造図

② 植栽ブロック構造図

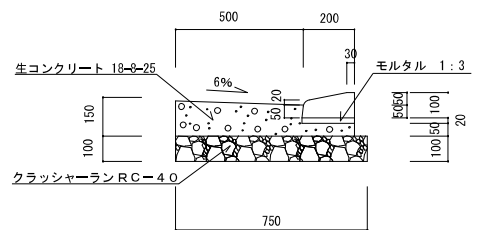
③ 現場打ち街渠



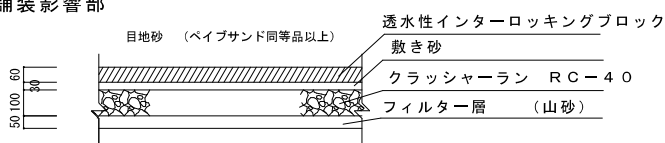
④ 乗入れ部



③' 二次製品ブロックを使用した街渠

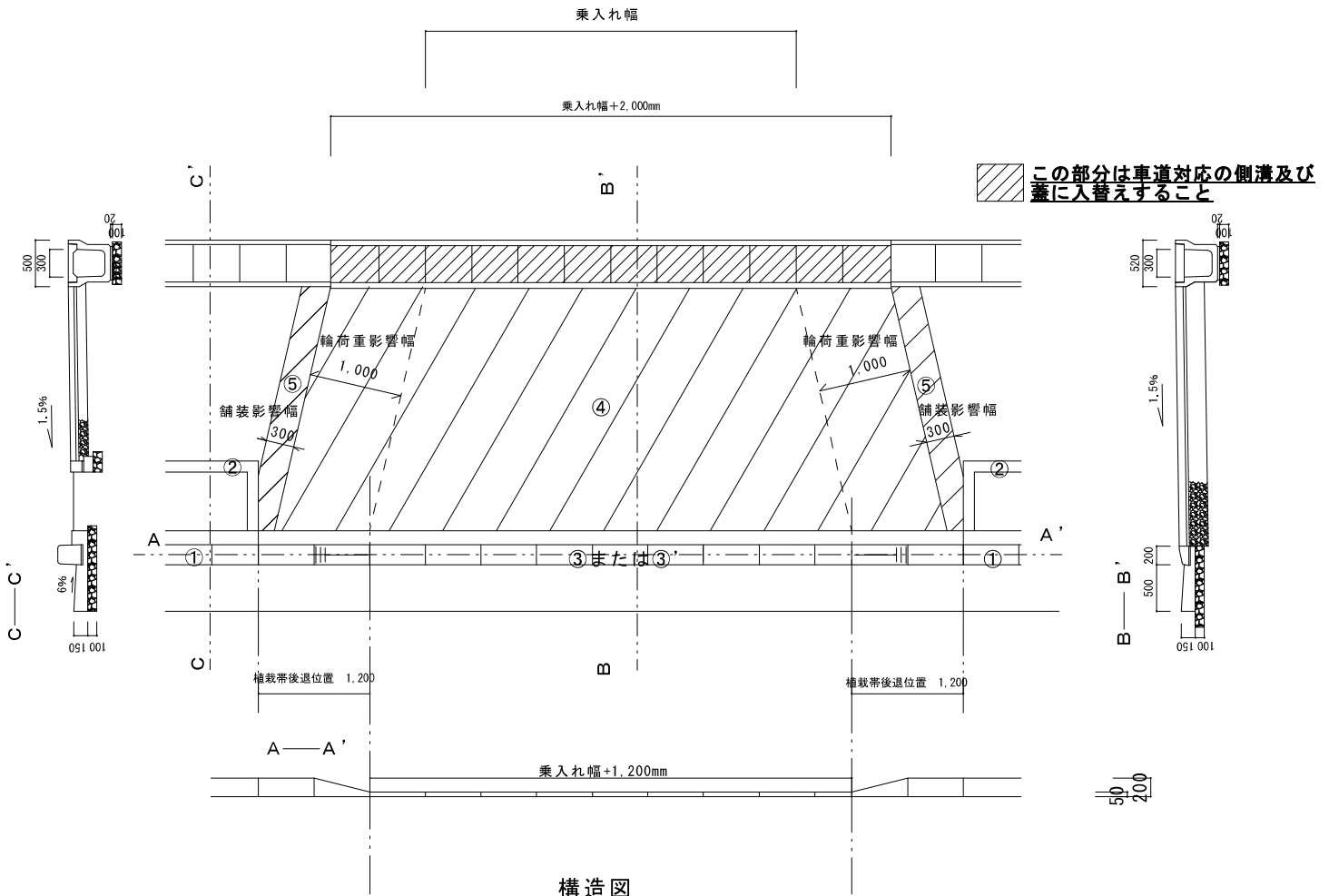


⑤ 舗装影響部



セミフラット式乗入れ構造図
 店舗の場合（主として乗入れる車両が「普通車」、「大型車」）
 主として乗入れる車両が「大型車」で路外施設が一般住宅、共同住宅、駐車場の場合

平面・横断面

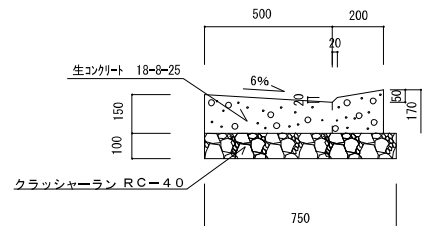
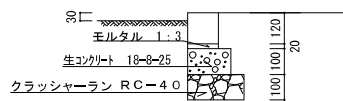
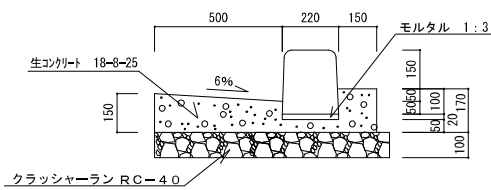


構造図

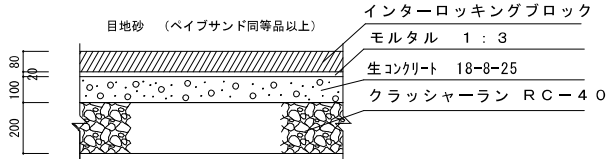
① セミマウント歩車道境界ブロック

② 植栽ブロック構造図

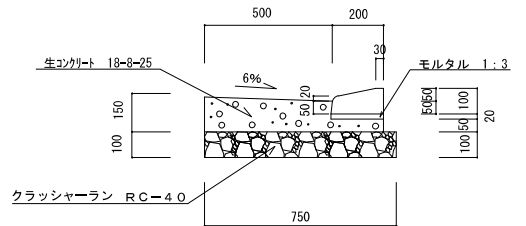
③ 現場打ち街渠



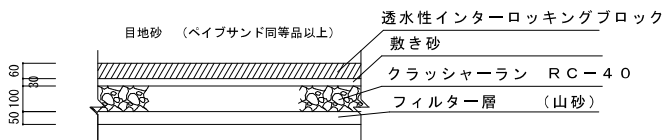
④ 乗入れ部



③' 2次製品ブロックを使用した街渠



⑤ 舗装影響部



インターロッキングブロック	
図書館通り	
製造元	日興中部販売(株) 052・745・8125
製品名	ペイブロックフェブ ペイブロック 12 (丸い模様用) 6 cm のみ製造中 ペイブサンド
厚さ	8 cm
古戦場通り(長湫東部土地区画整理地内)	
製造元	日本コンクリート 052・793・1151
製品名	TS-1
色	赤、83-40、83-41=3 : 1 : 1
厚さ	8 cm
古戦場通り(長湫中部土地区画整理地内)	
製造元	日本コンクリート 052・793・1151
製品名	TS-1
色	赤、83-40=1 : 1
厚さ	8 cm
香流通り(長久手西通り以西)	
製造元	日本コンクリート 052・793・1151
製品名	TS-2、B-1
色	ナチュラル、コーヒーブラウン、白、黄、緑
厚さ	8 cm
香流通り(長久手西通り以东、平和橋以西)	
製造元	ジャニス工業(株) 0569・35・2801
製品名	ケラミストーン (C1-60)
色	A1 (白)、A2 (ベージュ)、A5 (茶) =6 : 3 : 1
厚さ	6 cm (磁器性で強度があるため)
香流通り(平和橋以东)	
製造元	日本コンクリート 052・793・1151
製品名	チチブインターロッキングブロック N型、S型
色	ライトグレー、ベージュ、B2 =15 : 5 : 1
厚さ	8 cm
市道長湫東部 288 号線(杵ヶ池北)	
製造元	日本コンクリート 052・793・1151
製品名	ST-2
色	ANT ワイン
厚さ	8 cm